

## 平成30年度業務実績報告書の訂正について

### II 総括実績

#### (6) 研究推進項目の状況 (No. 3 の別紙 (No. 43~59) )

##### <訂正前>

| 区 分         |           |      | 課題数 | 実績額(千円) |
|-------------|-----------|------|-----|---------|
| 食 関 連       | No. 43-44 | 2 項目 | 25  | 120,571 |
| エネルギー関連     | No. 45    | 1 項目 | 10  | 51,334  |
| 地 域 関 連     | No. 46    | 1 項目 | 7   | 48,246  |
| 農 業         | No. 47-49 | 3 項目 | 262 | 781,206 |
| 水 産         | No. 50-52 | 3 項目 | 127 | 453,165 |
| 森 林         | No. 53-55 | 3 項目 | 89  | 231,945 |
| 産 業 技 術     | No. 56-57 | 2 項目 | 84  | 184,981 |
| 環 境 及 び 地 質 | No. 58    | 1 項目 | 82  | 176,236 |
| 建 築         | No. 59    | 1 項目 | 44  | 84,078  |

##### <訂正後>

| 区 分         |           |      | 課題数 | 実績額(千円) |
|-------------|-----------|------|-----|---------|
| 食 関 連       | No. 43-44 | 2 項目 | 25  | 120,571 |
| エネルギー関連     | No. 45    | 1 項目 | 10  | 51,334  |
| 地 域 関 連     | No. 46    | 1 項目 | 7   | 48,246  |
| 農 業         | No. 47-49 | 3 項目 | 268 | 781,206 |
| 水 産         | No. 50-52 | 3 項目 | 129 | 453,165 |
| 森 林         | No. 53-55 | 3 項目 | 89  | 231,945 |
| 産 業 技 術     | No. 56-57 | 2 項目 | 85  | 184,981 |
| 環 境 及 び 地 質 | No. 58    | 1 項目 | 88  | 176,236 |
| 建 築         | No. 59    | 1 項目 | 44  | 84,078  |

### III 項目別実績

#### 研究開発の推進方向 (No. 3)

##### <訂正前>

###### 《業務実績》

中期計画期間において取り組むべき研究分野として定めた研究推進項目を踏まえ、総合力を発揮して取り組む研究として「食」分野で25課題、「エネルギー」分野で10課題、「地域」分野で7課題の分野横断型の研究を推進した。また各研究分野の特性を生かしながら取り組む研究として、6研究領域において重点研究等の合計 688 課題の研究を実施した。

##### <訂正後>

###### 《業務実績》

中期計画期間において取り組むべき研究分野として定めた研究推進項目を踏まえ、総合力を発揮して取り組む研究として「食」分野で25課題、「エネルギー」分野で10課題、「地域」分野で7課題の分野横断型の研究を推進した。また各研究分野の特性を生かしながら取り組む研究として、6研究領域において重点研究等の合計 703 課題の研究を実施した。

重点研究 (No.6)

<訂正前>

|              | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|--------------|------|------|------|
| うち企業と連携した課題数 | 13   | 16   | 12   |

<訂正後>

|               | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|---------------|------|------|------|
| うち企業等と連携した課題数 | 13   | 16   | 12   |

外部資金 (道受託・公募型・一般共同・受託研究) による研究 (No.8)

・公募型研究

<訂正前>

|         | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|---------|------|------|------|
| うち新規課題数 | 93   | 58   | 62   |

<訂正後>

|         | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|---------|------|------|------|
| うち新規課題数 | 93   | 58   | 63   |

・一般共同研究

<訂正前>

|         | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|---------|------|------|------|
| うち新規課題数 | 39   | 34   | 36   |

<訂正後>

|         | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|---------|------|------|------|
| うち新規課題数 | 39   | 34   | 50   |

研究成果の発信 (No.10)

・その他

<訂正前>

|                  | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|------------------|------|------|------|
| 学会やシンポジウム等での発表件数 | 568  | 613  | 789  |

| 設定内容              | 28年度  | 29年度  | 30年度  |
|-------------------|-------|-------|-------|
| 口頭及び刊行物による成果の公表件数 | 3,392 | 3,294 | 3,447 |

<訂正後>

|                  | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|------------------|------|------|------|
| 学会やシンポジウム等での発表件数 | 568  | 613  | 684  |

| 設定内容              | 28年度  | 29年度  | 30年度  |
|-------------------|-------|-------|-------|
| 口頭及び刊行物による成果の公表件数 | 3,392 | 3,294 | 3,342 |

## 豊かな食生活を支える農業及び食関連産業の振興（No.47）

### <訂正前>

#### 《評価理由》

豊かな食生活を支える農業及び食関連産業の振興にあたり、道総研資金及び外部資金による研究の合計 199 課題について計画どおり実施した。実施に際しては道の普及組織、大学、国の研究機関等と連携した取組を推進した。収量や品質に優れた新品種の開発や生産性の向上に資する安定生産技術の開発を進めるなど、所期の成果等を得ることができたので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 200   | 202   | 199   |

### <訂正後>

#### 《評価理由》

豊かな食生活を支える農業及び食関連産業の振興にあたり、道総研資金及び外部資金による研究の合計 202 課題について計画どおり実施した。実施に際しては道の普及組織、大学、国の研究機関等と連携した取組を推進した。収量や品質に優れた新品種の開発や生産性の向上に資する安定生産技術の開発を進めるなど、所期の成果等を得ることができたので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 200   | 202   | 202   |

## 環境と調和した持続的農業の推進（No.48）

### <訂正前>

#### 《評価理由》

環境と調和した持続的農業の推進にあたり、道総研資金及び外部資金による研究の合計 42 課題について計画どおり実施した。実施に際しては道の普及組織、大学、国の研究機関等と連携した取組を推進した。クリーン農業、有機農業を推進するための減化学肥料・減農薬技術に関する技術開発や環境と調和した持続的農業を進めるなど、所期の成果等を得ることができたので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 52    | 45    | 42    |

### <訂正後>

#### 《評価理由》

環境と調和した持続的農業の推進にあたり、道総研資金及び外部資金による研究の合計 45 課題について計画どおり実施した。実施に際しては道の普及組織、大学、国の研究機関等と連携した取組を推進した。クリーン農業、有機農業を推進するための減化学肥料・減農薬技術に関する技術開発や環境と調和した持続的農業を進めるなど、所期の成果等を得ることができたので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 52    | 45    | 45    |

## 地域を支える漁業の振興 (No.50)

### <訂正前>

#### 《評価理由》

地域を支える漁業の振興にあたり、公募型研究、重点研究及び経常研究など計 90 課題について、概ね計画どおり実施した。これらの取り組みにより、表中層トロールによる浮魚類の漁況予測手法を開発したほか、植物プランクトン量だけでなく流速を加味したアサリの養殖適地診断法を見出すなど、所期の成果等を得ることができたので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 83    | 84    | 90    |

### <訂正後>

#### 《評価理由》

地域を支える漁業の振興にあたり、公募型研究、重点研究及び経常研究など計 92 課題について、概ね計画どおり実施した。これらの取り組みにより、表中層トロールによる浮魚類の漁況予測手法を開発したほか、植物プランクトン量だけでなく流速を加味したアサリの養殖適地診断法を見出すなど、所期の成果等を得ることができたので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 83    | 84    | 92    |

## 持続可能な地域づくりを支える本道産業の振興 (No.56)

### <訂正前>

#### 《評価理由》

持続可能な地域づくりを支える本道産業の振興にあたり、道内企業等との連携によって重点研究、経常研究など計 57 課題について概ね計画どおり実施した。得られた研究成果は、道内企業において新規事業や新製品の開発に活用されるなど、所期の成果等を得ることが出来たので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 56    | 52    | 57    |

### <訂正後>

#### 《評価理由》

持続可能な地域づくりを支える本道産業の振興にあたり、道内企業等との連携によって重点研究、経常研究など計 58 課題について概ね計画どおり実施した。得られた研究成果は、道内企業において新規事業や新製品の開発に活用されるなど、所期の成果等を得ることが出来たので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 56    | 52    | 58    |

## 生活・産業基盤を支える環境の保全、災害の防止及び地質資源の活用 (No.58)

### <訂正前>

#### 《評価理由》

生活・産業基盤を支える環境の保全、災害の防止及び地質資源の活用にあたり、重点研究及び経常研究など計 82 課題を地方自治体や大学、国立研究開発法人などと連携し、概ね計画どおり実施した。気候変動の緩和・適応策に関する研究では、釧路湿原への汚濁負荷削減や未利用農地の有効活用に対する気候変動の影響を明らかにした。また、ニセコ地域における地熱構造モデル構築と地熱資源量評価に関する研究では、地熱エネルギーを活用したまちづくりに活用される調査結果が得られ、所期の成果を得ることができたので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 88    | 88    | 82    |

### <訂正後>

#### 《評価理由》

生活・産業基盤を支える環境の保全、災害の防止及び地質資源の活用にあたり、重点研究及び経常研究など計 88 課題を地方自治体や大学、国立研究開発法人などと連携し、概ね計画どおり実施した。気候変動の緩和・適応策に関する研究では、釧路湿原への汚濁負荷削減や未利用農地の有効活用に対する気候変動の影響を明らかにした。また、ニセコ地域における地熱構造モデル構築と地熱資源量評価に関する研究では、地熱エネルギーを活用したまちづくりに活用される調査結果が得られ、所期の成果を得ることができたので、A 評価とする。

|       | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 実施課題数 | 88    | 88    | 88    |